



レプトスピラ症に注意しましょう

レプトスピラ症は、病原性レプトスピラという細菌によって引き起こされる感染症です。河川での遊泳やレジャーの際に感染することが多く、福岡県内でも川で泳いだ後にレプトスピラ症を発症した事例が見つかっています。

症状	感染してから5～15日後に、発熱、頭痛、筋肉痛、目の充血などの症状が現れます。重症化すると黄疸や腎不全などの症状が出ることもあります。
感染経路	病原性レプトスピラに汚染された水や土壌と接触したり、汚染された水を飲んだりして感染します。河川での遊泳やレジャー以外にも、農作業や洪水後の作業の際に感染することがあります。

予防方法



皮膚に傷がある時は川に入らない



川や土壌に入るときは皮膚を露出しない



川の水を飲まない



雨などで増水しているときは川に入らない

河川での遊水・レジャーの後、2週間以内に上記のような症状が現れた場合は、

医療機関を受診・相談

してください。



こどもの夏かぜに注意しましょう

夏かぜとは、夏にこどもを中心に患者数が増える感染症の総称です。以下に示す感染症が主なものです。例年、5～6月に流行が始まり、7～8月にピークを迎えますが、新型コロナウイルスの発生以降、流行時期が変化しています。

	咽頭結膜熱（プール熱）	手足口病	ヘルパンギーナ
主な症状	高熱（38℃～39℃）、咽頭炎、結膜炎	口の中、手のひら、足の裏などの水疱発疹、発熱、大人が感染した場合には痛みが強く出ることが多い。	急な発熱（高熱）、口の中（奥）にできる水疱（痛みで食欲不振になることあり）
感染経路	飛沫感染（患者のくしゃみや咳に含まれるウイルスを吸い込むことによっておこる） 経口感染・接触感染（水疱の内容物や便に排出されたウイルスが手指やタオルなどを介して、口や目に入るによっておこる）		
潜伏期間	5～6日	3～6日	2～4日

● 手指は石けんと流水でよく洗う

これらのウイルスはアルコール消毒が効きにくいので、石けんと流水で手を洗いましょう。症状がおさまった後も2～4週間程度は、便などにウイルスが排出されています。普段からトイレの後、おむつ交換の後にはしっかりと手洗いをするのが大切です。

● タオルの共用はしない

タオル等からの接触感染によりひろがります。症状がある場合には、自宅でもタオルなどを共用しないよう注意しましょう。

● 咳エチケットに努める

症状がある場合はマスクを着用するなど咳エチケットに努めましょう。